



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位

可児記者クラブ同時配布資料

令和4年9月6日（火）岐阜県発表資料		
担 当 課	担 当 者	電 話 番 号
可茂県事務所環境課	環境課長 岡部 浩司	TEL 0574-25-3111（内線 215） FAX 0574-25-3934

可児市平貝戸^{ひらがいと}地内における地下水汚染について

可児市が（仮称）可児御嵩インターチェンジ工業団地造成に先立ち自主的に地下水調査を実施したところ、可児市平貝戸地内の観測井戸から、地下水環境基準を超える鉛及びヒ素が検出されたため、本日（9月6日）、同市から可茂県事務所に報告がありました。

1 報告内容

（1）調査地点

可児市平貝戸及び柿田地内

（2）調査結果の概要

水質調査

項目	調査 検体数	基準超過 検体数	調査結果	地下水環境基準	基準 超過倍率
鉛	2	1	0.006 mg/L ～ 0.024 mg/L	0.01 mg/L 以下	2.4 倍
ヒ素	2	1	0.005 mg/L 未満 ～ 0.014 mg/L	0.01 mg/L 以下	1.4 倍

※鉛及びヒ素以外の有害物質6項目についても調査を実施していますが、基準超過はありません。

2 汚染の原因

自然由来による汚染の可能性が高いと考えられますが、現時点では不明です。

3 今後の対応

（1）地下水調査について

「岐阜県地下水の適正管理及び汚染対策に関する要綱」に基づき、可児市及び御嵩町の協力を得て、基準超過が確認された井戸から半径500mの範囲内にある家庭及び事業所を対象に、井戸水の利用状況調査及び水質検査を実施します。

（2）地域住民への情報提供について

井戸水を利用している場合は、水質検査結果が判明するまでの間、飲用自粛を呼びかけます。

物質の説明

【鉛】

「鉛」は比較的柔らかく加工が容易なため、古くから利用され、今日では主にバッテリーやはんだの原料として使用されています。以前は、ガソリンへの添加剤、水道管にも使用されていました。人体への蓄積性があるため、人の臓器や組織に通常でも存在し、高濃度の鉛による中毒の症状としては、食欲不振、貧血、尿量減少及び腕や足の筋肉の虚弱などがあります。また、鉛は地殻の表層部には重量比で 0.0015%程度存在し、人為的な排出のほかに地質に起因するものが含まれています。

【ヒ素】

「ヒ素」は金属と非金属の両方の性質を持つ半金属元素であり、合金の添加材（硬さを高めるため）、半導体の原料、ガラスの消泡剤や脱色剤、花火の着火剤、塗料用の顔料、木材の防腐剤等に使用されています。また、ヒ素は地殻の表層部には重量比で 0.0005%存在し、水中や土壌中、岩石、大気中に広く存在しています。ヒ素に汚染された井戸水の飲用による慢性の中毒症状としては、皮膚の角質化や色素沈着等が報告されています。

参考：化学物質ファクトシート-2012年版-（環境省発行）